

研究構想図

- ・ 社会の状況
- ・ 子供の実態
- ・ 保護者の願い
- ・ 地域の願い
- ・ 教職員の願い

〈学校教育目標〉
 人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた
 人間性豊かな子どもの育成
 ○心も体もたくましい子
 ◎進んで考えくふうする子
 ○いつも仲よく助け合う子

- 【中教審答申の内容から】
- ・ 資質・能力の柱としての「知識」「思考力・判断力」「学びに向かう力・人間性」の育成。
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業改善。
- 【新学習指導要領から】
- ・ 各教科で育成する資質・能力を明確にしたこと。
 - ・ 各教科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育成すること。

研究主題 子供と共につくる授業の創造

目指す子供像	○主体的に問いを追究し、知識や技能を獲得する子供 ○自分で調べたり考えたりするための資料や方法、活動等を選択し、自ら学びを進める子供 ○自分の学んだことや学び方を見つめ直し、次の自分の学びに生かそうとする子供			
	低学年	中学年	高学年	梅の実
	自分で資料や活動を選択したり、班で意見交流したりして学習を進め、学習を振り返ることができる子供の育成	自分に合った資料や活動を選択したり、ファシリテーターを中心に話し合いをしたりして学習を進め、学習に応じた振り返りができる子供の育成	問いを解決するのに適切な資料や活動、方法を選択したり、ファシリテーターを中心に目的に応じた話し合いをしたりして学習を進め、自分の学びや学び方を振り返り、次の学びに生かそうとする子供の育成	教師と共に一人一人に合った資料や活動、方法を選択したり、班で意見交流したりして学習を進め、学習を振り返ることができる子供の育成

仮説

主体的に問いを追究できるような問題解決的な学習を展開し、子供が資料や方法、活動を選択できるようにしたり、自分たちで対話的な学習を進めることができるようにしたりする。また、学習で学んだことや学び方等を見つめ直し、次の学びに生かせるようにしていく。授業の展開や子供の反応に応じて、教師は子供に委ねる場面と助言や問い返しをする場面を判断し、授業を展開していくことで、子供と共につくる授業の創造が実現できるだろう。

研究内容・手だて

- 研究内容① 主体的に問いを追究する工夫
- 研究内容② 子供に委ねるための工夫
- 研究内容③ 子供の学びを確かにする評価